

「自然と共生する しあわせ実感都市岡垣」

の実現に向けて

「数十年先の岡垣町を見据えた取り組み」と
「今暮らしている住民の幸福度を高める取り組み」を進めるために

はじめに

問い合わせ 総務課

3月定例議会で門司町長が令和8年度の施政方針を発表しました。施政方針には、1年間をかけてどのような取り組みを行うのか、まちづくりの方向性が示されています。今回は、その概要と令和8年度予算を紹介します。

第6次総合計画の中間評価に伴い実施したアンケート調査では、「住みやすい」という回答が85%を超え、計画策定時より13%増加しました。その理由として、「自然が豊かだから」のほか、「防犯体制が整い、交通事故や犯罪等が少なく安心して生活できるから」と回答した人の割合が大きく上昇しました。岡垣町の人口当たりの刑法犯認知件数は県内でも少ない水準を維持しています。これらは、日頃から子どもたちの登下校時の見守りや交通安全誘導、青色回転灯装着車での巡回パトロールなど、地域に誇りと愛着を持って活動していただいている住民の皆さまのおかげです。

また、昨年12月に発表された民間企業による調査「街の幸福度&住み続けたい街ランキング2025」では、4年連続で高評価をいただきました。これも、住民の皆さまとともに進めてきたまちづくりに対する評価であり、さまざまな分野で地域活動やボランティア活動に尽力いただいている皆さまに改めて感謝申し上げます。

令和8年度のまちづくり

「人口減少下での持続可能なまちづくり」

急速な人口減少などにより、全国的に人材不足が深刻化しています。町でも、職員採用試験への応募者数が減少し、特に技術職は予定した採用者数を確保できないことが常態化しています。このため、令和7年度に策定する「人材育成・確保基本方針」に基づき、組織力の強化や働き方改革の推進、働きやすい職場環境の整備を進めるなど、人材の育成と確保に向けた取り組みを計画的に推進します。また、業務を効率化し、生産性を向上させるため、デジタル化やAIの活用などによるDXを推進するとともに、遠賀郡内および北九州都市圏での広域行政の展開や民間企業などとの官民連携の取り組みにより、行政サービスの提供を持続可能なものにしていきます。さらに、人口減少への対策には、数十年先を見据えた効率的な行政運営が求められるため、公共施設の集約化や複合化、用途廃止などによる施設の総量の削減、学校施設の適正配置などに取り組みする必要があります。今後の公共施設などの計画的な管理や施設ごとの整備方針を定めるため、附属機関による審議も踏まえながら、公共施設等総合管理計画の改訂を進めます。



〔岡垣サンリーアイを安全・快適に利用するために〕

第1期施設は平成5年度、第2期施設は平成12年度に建設され、年間約40万人が訪れる岡垣サンリーアイ。文化・スポーツの拠点として、多くの人に親しまれてきました。町外に住む人からも「岡垣町といえばサンリーアイ」と言われるほど、町を象徴する施設です。建設から30年以上が経過したことを踏まえ、70年から80年の長期にわたり安全で快適に利用できるよう、適切な時期に補修や更新を行うなど、計画的に改修を進めます。

〔まちを支える交通インフラの整備と維持〕

国道3号岡垣バイパスの4車線化とフルランプ化が完了し、安全性の向上や事故発生時の町内道路の渋滞緩和に寄与しています。一方で、国道95号と山田ランプ間の交通量が増加し、近隣住民の生活への影響が懸念されています。現在整備が進められている県道岡垣・宗像線バイパスの早期完成や国道3号岡垣バイパス東交差点の横断歩道橋、県道原・海老津線バイパスの整備促進に向けて、引き続き国や県に働きかけを行います。

また、昨年10月に西鉄バス松ヶ台循環線が廃止されたことにより、町内の全てのバス路線がコミュニティバスでの運行となりました。

町を取り巻く環境は少子高齢化などを背景に大きく変化し、公共交通の在り方を見直す必要があります。そのため、現状の利用実態を十分に把握し、公共交通体系整備計画の改訂を進めていきます。

〔災害への対応の強化〕

昨年8月の大雨では、過去最大の24時間降水量を記録しました。その災害対応で、道路の通行止めなどの周知が新たな課題として明らかになりました。このため、町公式ホームページで通行止め箇所を分かりやすく地図に表示することとしました。また、早期復旧を図るため、新たに庁内応援体制を整備しました。今後も継続的に災害対策の強化に努めていきます。

〔水道水の安全安心〕

P.F.O.S・P.F.O.Aへの対応として芦屋基地に近接する糠塚水源の取水調整を行い、水道水は概ね定量下限値未満の状態を維持した水質管理を行っています。今後もモニタリング調査を継続し、町の貴重な財産である地下水を守りながら、引き続き水道水の安全・安心を確保していきます。また、新規水源の開発を加速し、水資源の確保に努め、水道水の安定供給を行います。

〔いれからの学校教育〕

学校給食費の無償化は、多額の費用が必要となり、財政への影響が大きいことから、長年の課題と

なっていました。令和8年度からは、国の方針に基づき小学校の給食費を無償化します。あわせて、国の制度が適用されない中学校も、町独自の取り組みとして給食費を無償化します。また、食物アレルギーなどの理由で給食を食べられない児童生徒などの保護者には、給食費相当分の支援を行います。これらを通じて、学校給食の質と量を維持しつつ、保護者の負担軽減を図っていきます。

特別な配慮や支援が必要な児童生徒の増加や、一部の学校での児童数減少に伴う複式学級編成の検討など、学校教育現場では新たな課題が生じています。また、老朽化した施設への対応も喫緊の課題です。学校施設の適正配置に向けては、さまざまな意見に耳を傾けるとともに、有識者や住民代表などによる学校施設適正配置検討審議会での検討を行い、数十年先を見据えた方針を定めていきます。

〔平和への思い〕

役場の庁舎敷地内の北側には戦没者慰霊塔があり、戦争で尊い命を失った42人の名前が刻まれています。高齢化されたご遺族をはじめ多くの人が訪れやすくなるよう、庁舎駐車場からのスロープを設置する予定です。訪れる方が戦没者を思い、平和の尊さを感じる場所として維持し、町全体で平和への思いをつなげていきます。

施政方針について

詳しくは、町公式ホームページへ





一般会計予算は139億2200万円

歳入

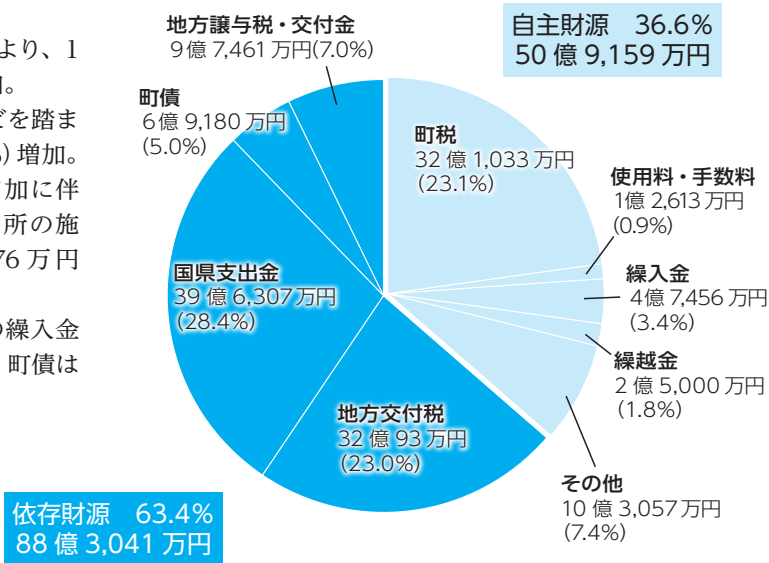
【前年度からの主な増減】

町税 所得の増加などにより、1億1,501万円(3.7%)増加。

地方交付税 国の計画などを踏まえ、2億3,173万円(7.8%)増加。

国庫支出金 扶助費の増加に伴う負担金の増や新規保育所の施設整備により、2億5,776万円(11.3%)増加。

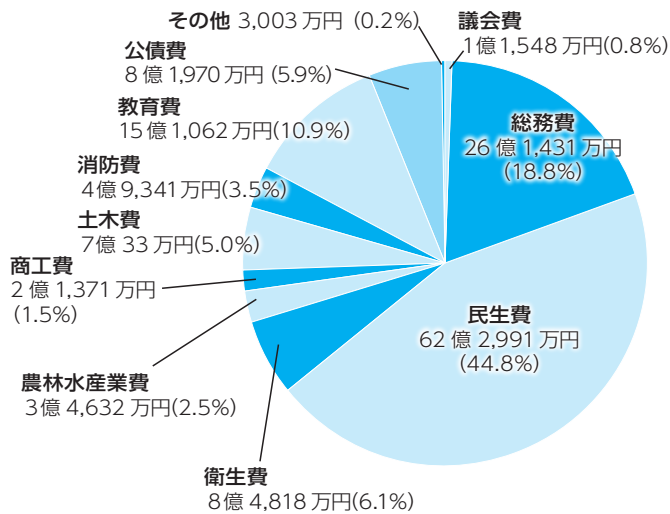
繰入金・町債 基金からの繰入金は646万円(1.4%)増加、町債は4,030万円(6.2%)増加。



前年度予算から

9億2,400万円(7.1%)増加

歳出



【前年度からの主な増減】

民生費 社会保障費の増加および民間保育所整備補助により、5億9,297万円(10.5%)増加。

農林水産業費 排水施設や農業水利施設の整備などにより、8,790万円(34.0%)増加。

令和8年度 当初予算

詳しくは、町公式ホームページへ



その他の会計

会計名	予算額	会計名	予算額(税込み)	
国民健康 保険事業	30億2,285万円	水道事業	収益的収入	6億2,048万円
			収益的支出	6億2,109万円
資本的収入	2億2,896万円			
資本的支出	4億9,493万円			
後期高齢者 医療	7億8,900万円	下水道事業	収益的収入	9億224万円
			収益的支出	8億8,399万円
			資本的収入	5億2,094万円
			資本的支出	7億8,001万円



令和8年度の まちづくり

令和8年度の新たな施策や重点的に取り組む施策を、第6次総合計画の基本目標に沿って紹介します。

2 地域資源を活かし発展するまち

- ため池、水路などの農業用施設の維持管理 ————— 8,857万円
- 緩衝林の整備と有害鳥獣対策 ——— 1,921万円
- 漁業の振興 ————— 1,424万円
- 商工会への支援 ————— 1,382万円
- 観光の推進 ————— 5,180万円
- プレミアム商品券発行補助 ——— 3,353万円
など

4 誰もが元気で自分らしく暮らせるまち

- 健康づくりの推進 ————— 3,665万円
- 高齢者福祉の増進 ————— 7,451万円
- 障がい福祉事業 ————— 16億 1,786万円
- 介護保険事業 ————— 7億 5,297万円
- 後期高齢者医療事業 ————— 7億 5,084万円
- 高齢者帯状疱疹^{ほうしん}予防接種
(任意接種含む) ————— 2,811万円
- シニアカー・補聴器購入費補助 ——— 190万円
- 慰霊塔改修 ————— 493万円
など

6 計画推進の基盤

- 校区コミュニティ支援 ————— 1,094万円
- 行政システムの標準化など
自治体 DX の推進 ————— 9,698万円
- 職員採用管理システム導入 ————— 59万円
など

1 自然を守り、活かし交流を生むまち

- 三里松原の保全活動への支援 ————— 790万円
- 荒廃森林整備 ————— 453万円
- 環境啓発・人材育成事業 ————— 191万円
- 脱炭素先行地域づくり事業費補助金 — 3,555万円
- 水道事業会計補助金 ————— 920万円
など

3 人・つながりが育つまち

- 保育サービスの提供 ————— 11億 4,881万円
- 学童保育所の運営 ————— 8,027万円
- こども未来館の運営 ————— 3,842万円
- 英語教育の充実 ————— 1,492万円
- 教育支援センターの運営 ————— 393万円
- 小学校電子黒板更新 ————— 6,878万円
- 小・中学校特別支援学級設置事業 ——— 2,761万円
- こども誰でも通園制度関連経費 ——— 182万円
- 民間保育所施設整備補助 ————— 2億 3,232万円
- 学校施設適正配置の検討 ————— 92万円
- 町民体育館空調等改修工事 ————— 1億 6,847万円
※町民武道館空調等改修工事は
令和7年度補正予算に計上 ————— 7,799万円
- 岡垣サンリーアイの運営 ————— 2億 6,593万円
- 岡垣サンリーアイ施設改修 ————— 3億 4,192万円
など

5 安全・快適に暮らせる持続可能なまち

- 道路橋梁の補修や更新 ————— 1億 9,451万円
- コミュニティバス・
乗合タクシーの運行など ————— 1億 178万円
- 自主防災組織への
支援などの災害対策 ————— 1,155万円
- JR 海老津駅周辺の整備事業 ————— 6,105万円
- 防災無線整備 ————— 1,430万円
など



思いを力に未来へ進む

令和8年度は、第6次総合計画の6年目に当たりま
す。住民アンケート調査を
はじめとする中間評価の結
果を踏まえ、事務事業の改
善を図りながら、数十年先
の岡垣町を見据え、必要
な施策を着実に実行する
とともに、現在暮らしてい
る住民の皆さまの幸福度を高
める取り組みを同時に進め
ることで、「自然と共生する
しあわせ実感都市 岡垣」
の実現に向けて、全力で取
り組みます。